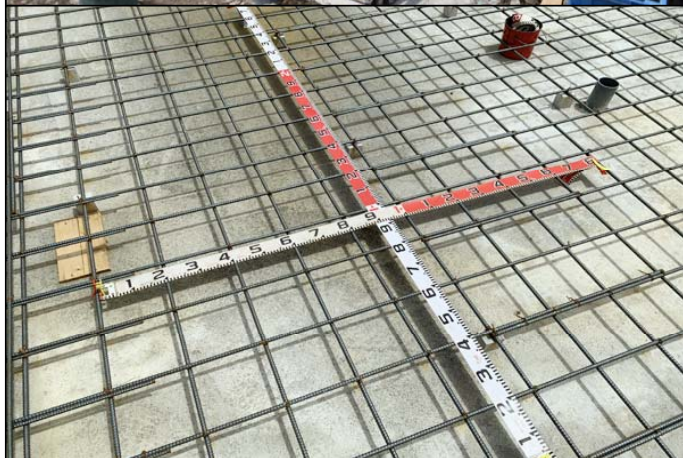


|      |                |              |
|------|----------------|--------------|
| 現場名称 | 直江町の家 梅田様邸新築工事 | 監理項目「基礎配筋検査」 |
| 作成者  | 川本             |              |



[工事遠景]

建物本体工事も着々と進み本日は基礎の配筋検査を行いました。擁壁の配筋検査と同様に鉄筋の径、ピッチ、重ね方が構造設計通りかなど多岐にわたる項目を全て目視でチェックします。



[ベース配筋]

ベース部の配筋は200mmピッチ、鉄筋径も13mmを使用していることを確認しました。左側に見える木の板は、地鎮祭で神主さんからお預かりした「鎮め物」というお守りのようなもので一時的に保護するために木の板でフタをしておりますが、打設直前に板を外して基礎の下に納めます。



[ベース被り厚]

「被り厚」といって基礎には鉄筋に対して確保すべき適切なコンクリートの厚みが決められており、最低60mmの被り厚を確保するよう定められておりますが、施工誤差を見込んで70mmの被り厚で設計しております。このサイコロがH70mmですので被り厚は適切です。



[立ち上がり被り厚]

ベース部同様に立ち上がりの部分にも被り厚が定められており、型枠までの適切な距離40mmを確認させて頂きました。その他鉄筋の重ねや各補強筋の確認をして問題ありませんでしたのでコンクリートの打設を行います。本日、岡田様より基礎換気口の承認を頂きましたので「西面中央1箇所、北面個室部1箇所、北面LDK1箇所、北面洗面所1箇所」の計4箇所に基礎換気口を追加する鉄筋の加工を指示させて頂きました。後日この部分の補強筋の確認を行います。